

書籍紹介

「黒い雨」訴訟の軌跡 ～専門家7人・多面的に考察



原爆投下後、放射性物質を含む「黒い雨」を浴びた人たちは健康被害を訴えますが、国が定める区域の外で雨に遭った人々は長く「被爆者」として認められず、司法の場で争ってききました。書籍は、専門家7人が、人文社会・自然科学それぞれの視点から考察しています。「黒い雨」を巡る社会や行政の向き合い方を問うと同時に、核被害の深刻さを伝える1冊です。
定価3000円(税込)
ご注文は出版社「本の泉社」等へお問い合わせください。